

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 2月 3日

こども発達支援センターにじいろ

利用児童数

9

回収数 7/8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7			<ul style="list-style-type: none"> 互いに意見を交換することで、相互理解が深まり、子どもの理解の幅が広がった。 児童に合った方法を提示していただけるため、非常にありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ学校園の日常生活・学習場面で生かせるような助言や説明になるよう心がけている。説明も平易な言葉を用いるよう留意している。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			<ul style="list-style-type: none"> 専門の視点から、保育現場で可能なことを助言頂けた。 声かけや児童との距離感など、普段の関わり方について、別の視点からたくさん助言をいただけているのでありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれの視点で、学校園で日常的に実践できるような内容の助言ができるよう留意している。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7			<ul style="list-style-type: none"> その時々や、時間経過後の変化も対応して頂けた。 行事への参加のしかたを中心に、たくさん質問をさせていただいたのですが、児童にとって必要なものや支援体制についてなど、適切に回答して下さいました。 対象児童の支援内容についての困りごとなどを共有でき、相談することができて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の感じる生活・学習上の困難さは、時期や教科内容、行事、支援体制等で大きく変化するため、今後も学校園との情報交換を密にして、状況に応じた適時性のある支援を適切に提供できるよう努めたい。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> 解消する点や、次へつながる点など様々だが、前へ進むことができている。 担任だけでは、これでよいのかと悩んでしまうことがあります。訪問支援はありがたいです。 昨年度、私がこの学級の担任ではなかった頃の様子を教えていただけて助かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問担当者は、支援の方法や発達についての専門性は持ち合わせているが、児童一人ひとりの生活や学習上の課題について熟知しているのは担任の先生であるため、今後も児童に関する日々の学校園生活の状況を聞き取りながら、可能な限り専門的な助言を提供し、課題や困難さを解消、軽減できるよう取り組みたい。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			<ul style="list-style-type: none"> 訪問の日だけでなく、困ったときにいつでも相談に乗っていただけるので、満足しています。 必要に応じて情報共有させていただきたいへんありがたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を提供できる機会や時間に限りがあり、きめ細かい支援の提供は難しいが、今後も学校園からの必要が生じたときには丁寧に対応する「利用しやすいにじいろの保育所等訪問支援」を目指したい。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> いつも、急な相談に対応頂きありがとうございます。家庭や保育以外の視点で具体的にアドバイス頂きました。特に今年は就学に向けて相談することができ、上手く小学校へつながってほしいと思います。 					保育所等訪問支援は、1か月に1回程度、児童の学校園生活の一場面を観察し、児童が集団のなかでいかに自分を発揮できるかを学校園や保護者と共に考える事業であるため、密度の濃い継続的な支援という面では難しい面があるが、学校園生活の年齢や時期に対応した支援ができるよう、学校園や保護者とのコミュニケーションの充実を図っていきたく考えている。今後も情報共有や意見交換の場を可能な限り確保したい。	